

専門外来開設のお知らせ

シニア・フレイル/うつ外来 平成31年3月4日(木) 午後より

フレイルとは、年齢とともに「からだ」の活力（筋力や運動機能の低下）や「こころ」の活力（うつや認知機能障害）が低下し、精神疾患（統合失調症や双極性障害、うつ病、アルコール依存症など）や生活習慣病（肥満、糖尿病、高血圧、脂質異常症、肺気腫など）などの慢性疾患の併存などの影響もあり、心身の脆弱性が進行し、生活機能に支障が出た状態であるが、適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像とされており、自立した状態と寝たきりでサポートが必要な要介護状態の中間を意味します。多くの方は、フレイルを経て寝たきりへと進むと考えられており、特に高齢者はフレイルが発症しやすいことがわかっています。超高齢化社会、人生100年時代と言われる現代において、フレイルに早く気づき、正しく介入（治療や予防）することで、健康長寿を実現することが可能となります。

加齢、精神疾患（統合失調症、双極性障害、うつ病、アルコール依存症など）、生活習慣病（肥満、糖尿病、高血圧、脂質異常症、肺気腫など）、脳卒中、心臓病、癌などの疾病、多種類の服薬、視力・聴力低下、サルコペニア、口腔機能低下、運動不足、低栄養、認知機能低下、うつ、独居・孤立など

